

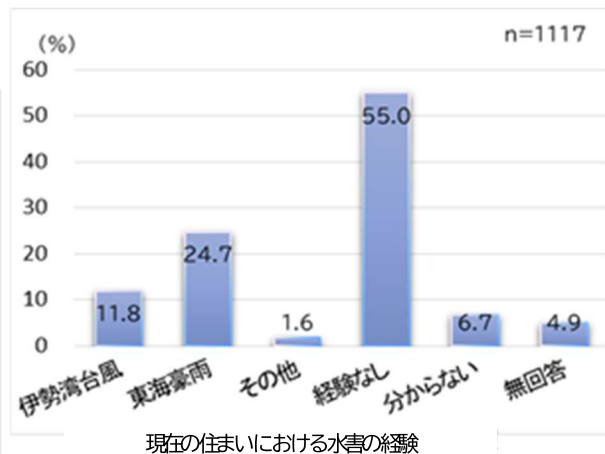
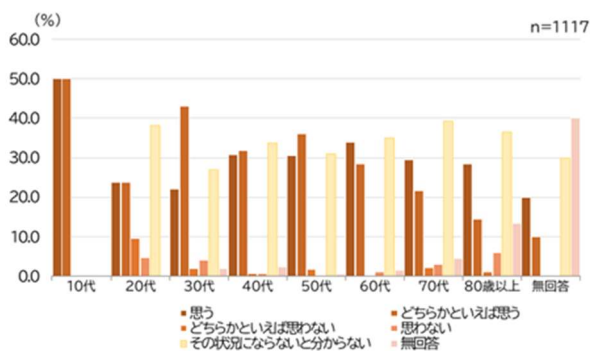
# 助成対象活動報告シート

団体名：星崎学区連絡協議会

## 1 助成を受けて実施した活動

※ 活動の様子がわかる写真(数枚)を入れ込んで記入してください。

- ◆ 防災に対する意識及び地域活性化に関する課題の抽出を目的として、町内会加入世帯(1,650世帯)に対しアンケート調査を実施した。  
(回収率 66.7%)



年代別に見た助加が必要な方の支援の意思

防災講習とタイムライン作成 DIG の説明 (8月19日)

- ◆ 伊勢湾台風の体験者から、当時の状況を聞き取り、地域の課題と教訓をエスノグラフィとして映像・製本化し、将来の防災対策の参考とする取組みを実施した。



- ◆ 自主防災組織の方に対し、風水害を対象とした『わが家のマイ・タイムライン』作成の手順を理解し、地域においてリーダーシップを発揮できるよう、DIG(災害図上訓練)、実働訓練を通じ防災力向上と地域の連携を図る取組みを実施した。

- ◆ 防災を切り口とした地域まちづくりのため、地域の事業所への取組みへの参画の働きかけを行うとともに、災害時に特に配慮を有する施設として、地域内の社会福祉施設との懇談会を開催し、災害時の課題について話し合いを実施した。



防災訓練(12月3日)



災害教訓エスノグラフィDVD

防災啓発ステッカー



## 2 活動の成果および目標達成度合い

- ◆ アンケートにより、地域の防災の取り組み状況と課題、地域活性化のために取り組むべき課題が把握でき、今後の事業展開に資することができた。(80%)
- ◆ エスノグラフィーについては、概ね、当初の予定どおり冊子作成、配布までは達成した。映像化については、PCソフト、操作要領に不慣れなため映像加工(DVD化)までとなり、ホームページ等への掲載は、今後、実施予定である。(90%)
- ◆ 防災講演会、学習プリントは、WSのスムーズな進行を図り、家庭ごとの「マイ・タイムライン」作成までを目標としたが、実効性の検証には継続した確認、啓発が必要であると感じている。(65%)
- ◆ まちづくり意見交換会は、多様な主体が集まって意見交換するところまで到達できず、福祉施設との意見交換、事業所への働きかけの途中となった。(50%)

## 3 活動により見えた課題

- ◆ 防災については非常に熱心で、さらなる取り組みの充実が期待できる。(例 要配慮者に対する支援で、とても前向きだが、具体的な支援の内容までは考えられない。天白川の沿川ということから河川氾濫に強い危機感があるなど。)
- ◆ 学区という比較的小規模な単位の中にも、高齢化の地区、居住年数の違いなどによって異なる様々な課題や地域の特性がよく分かった。まちづくりに対する意識の違いがあるものの、「気軽に集まる雰囲気づくり」「地域が集まる行事の充実」「活動内容の積極的な広報」などは共通して高い関心があるものの、実際の取り組みが少ないことが分かった。
- ◆ 地区の特性として、近く(徒歩圏内)にスーパーなどの買い物できる施設がなく、今後さらなる高齢化の進展につれ、防災対策とともに、日常生活に対する不安が強くなっていくと考えられる。
- ◆ こうした課題を、地域全体で認識し、考えていくことが地域活性化につながっていくと考える。

## 4 今後の活動等の展望

- ◆ 令和5年度の取り組みをベースにし、防災に熱心な(高い危機意識を持った)地域の特性を上手く活かし、防災対策の中に、住民が集まりやすい取り組みを展開していくことが重要と考える。  
具体的には、一人ひとりの防災対策を確実に実行、管理できるよう具体的な達成目標の設定などによる進行を管理できる学区の地区防災計画(風水害編)を作成する。
- ◆ 現在、「防災運動会」「(QRコードによる)クイズで学ぶまちなか防災」「広報用デジタルコンテンツの充実」「地域まちづくり新聞」などの検討を始めているところである。
- ◆ また、地域の高齢者などが外出しやすい環境づくりを進めるためのニーズと取り組みを検討していく必要を感じている。
- ◆ さらに、多様な主体を巻き込むには、今年度、十分にできなかった事業所との連携によるまちづくりの担い手を育成していくほか、地域づくりファシリテータの養成も図っていくことを考える。

※ 各欄のサイズ変更は可能ですが、2ページを超えないように作成してください。

※ 用紙の大きさ日本産業規格 A4 とする。

※ この様式は公開されます。